

# 脳卒中

みのわクリニック 蓑和 章 先生

脳卒中とは、脳の血管が 詰まったり(脳梗塞)、破れ たり(脳出血) して、脳が 障害を 受け、突然倒れる発 作性の症状です。昔は脳卒 中を起こすと安静を保ちそ の場を動か してはいけない と言われてきました。

しかし、現在では、画像 による適切な診断と治療が できるようになり、できる だけ早急 に医療施設を受診 したほうが有利です。

脳梗塞、脳出血でよく起 こる症状として次のような ものがあります。

・半身のしびれ、知覚鈍麻

・半身の脱力、麻痺

・ろれつが回らない

・言葉がでない

など くも膜下出血の場合の症 状は、激しい頭痛が突然起 こるのが特徴です。

脳卒中になってしまうとたとえ命が助かっても半身 麻痺などをはじめとする重 篤な後 遺症を残すことも多く、本人並びに家族にとっ ての負担は計り知れないも のがあります。 脳卒中の発 症を予防することはできる でしょうか。

一、脳卒中は代表的な生活 習慣病の一つで、喫煙、過 食、偏食、運動不足、過度 の飲 酒などの習慣を改める ことが何より大切です。

二、血圧測定、心電図、血 液検査などから近い将来、脳卒中を起こす危険性を予 知で きますから年一回は定 期健診を受けましょう。

三、高血圧、心臓病、糖尿 病などを有する人は、放置 せず、適切な治療を根気よく続 けることが予防に結び つきます。

---